

# ベネッセコーポレーション アクセシビリティに関する取り組み

ベネッセコーポレーション  
事業開発部 特別支援教育事業開発プロジェクト 阿部

# 自己紹介：阿部健二

- 元大手印刷会社の技術研究職
- ベネッセにてコンテンツ制作～デジタルアーカイブを主担当。様々な事業の後方技術支援、コンテンツオーサリング環境等のシステム構築をリード
  - ▶ コンテンツとプレゼンテーションの分離（XML化）
  - ▶ マルチメディアパブリッシング など
  - ▶ 進研ゼミ「まなびライブラリー」開発／コンテンツ制作等
- 2017年 社内の新規事業提案「明日のベネッセを創るPJ」にて優秀賞
- 2018年～ 事業開発部にて「アクセシブル」事業開発PJを担当

プライベートは古本・レコード蒐集など「アナログ」派

# 進研ゼミ「まなびライブラリー」のご紹介 ①



「進研ゼミ」小学講座・中学講座・  
高校講座会員の方限定 電子書籍と  
動画を閲覧し放題のサービスです  
※追加受講費不要

2019年4月現在  
進研ゼミ会員数全国約181万人

# 進研ゼミ「まなびライブラリー」のご紹介 ②

お手持ちのデバイス※1から「まなびライブラリー」参加各社※2の電子書籍（約1,000冊）・動画（約20本）※3をストリーミング形式で好きなだけ利用できます。

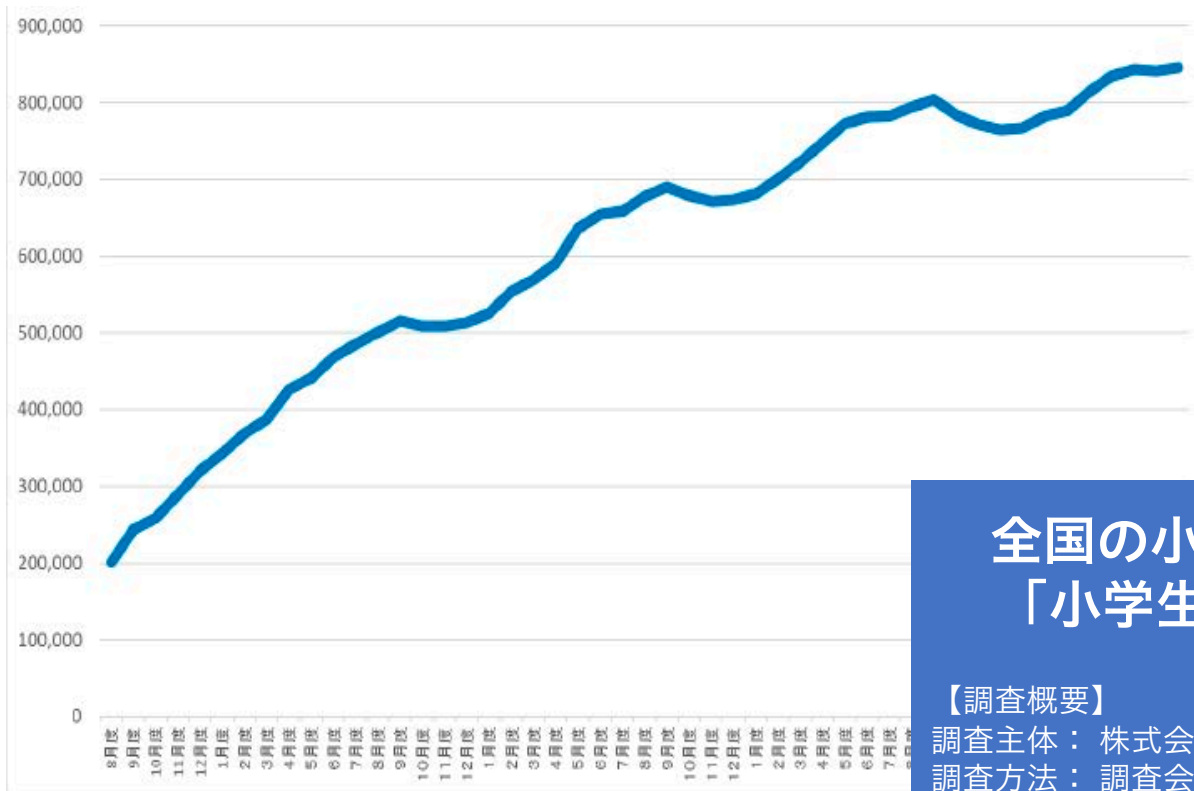
※1：進研ゼミ専用タブレット・PC・スマホ等

※2：岩波書店／学研PLUS／KADOKAWA／ブルーベル館／ポプラ社／文藝春秋／講談社／岩崎書店／集英社／Discovery／東映株式会社／KYODO NEWS IMAGES.他

※3 書籍・動画は定期的に入れ替えています



# 進研ゼミ「まなびライブラリー」のご紹介 ③



まなびライブラリー利用者数  
2019年8月現在  
登録者数：約85万人  
月次利用者：約35万人（平均）

全国の小学生の電子書籍利用者の3分の1が利用する  
「小学生に最も使われている電子書籍サービス」へ

## 【調査概要】

調査主体：株式会社ベネッセコーポレーション

調査方法：調査会社モニターを使ったインターネットリサーチ

調査対象：25～49歳の男女（電子書籍を読んだことがあるお子様と同居している方）

調査期間：2017年2月24日～2017年2月27日

# まなびライブラリー アクセシビリティへの対応課題

ユーザー認証 & Webサイト : 自社構築  
コンテンツ制作 : 出版社提供 (もしくは自社制作)

図書配信 (CDN) & Viewer : 他社ソリューションの利用



文字拡大等は可能だが、充分にアクセシビリティが担保されているとは言えない。

# 学習環境におけるアクセシビリティ？

肢体不自由  
視覚障害  
聴覚障害  
学習障害 (LD)



ICT機器を活用した  
代替技術が進化

注意欠陥多動 (ADHD)  
自閉症スペクトラム (ASD)



学習コンテンツ自体の課題  
学習量の調整  
難易度の調整 etc

パーソナライズに対するアプローチが大きく異なる

# ベネッセの学習コンテンツ管理について

学習コンテンツ（広義） = コンテンツ（内容） + プレゼンテーション（メディア）

↓  
問題や暗記問題

↓  
商品企画やメディア（印刷・Web・アプリなど）

↓  
資産・コモディティ化

↓  
個別・多様化

↓  
XML（タグ付きテキスト）

↓  
？



# 「学習」に求められるアクセシビリティとは？

- すべての人に
- アクセシブル（標準規格化技術の採用）
- 個性・凹凸に合わせたパーソナライズ（学習調整機能）
- 「自己肯定感」ファースト
- 国費やCSR予算に依存しない事業化 → 継続的なサービスへ

今年度は市場調査～実証中（リリース時期未定）

ご清聴ありがとうございました

*“The power of the Web is in its universality. Access by everyone regardless of disability is an essential aspect.”*

*Tim Berners-Lee*